

グループ名	ユニット名等	科 目 名	担当教員名	対象学年次	学 期
選択科目	2 単位	日本の教育	高山有紀	1 年次	秋

授業のキーワード	学校教育 子どもの荒れ 教育改革
授業の概要・目的 及び修得させる知識・技能	各種教育機関（幼稚園、小学校、中学校、高等学校、大学、短大）において問題化しているテーマを中心に、次代を担う子どもや若者に大きな影響を及ぼす、教育の在り方について考えます。
履修のアドバイス・ 前提科目等	自身の被教育体験を客観的に捉えてみましょう。教育の問題を通して、社会の動きを知ることができます。

授 業 展 開

	テーマ	内 容		テーマ	内 容
第 1 講	はじめに	授業の進め方について説明を行います。	第 9 講	中学校③	中学校をめぐる、さまざまな新しい動きについて考えます。
第 2 講	幼児教育①	幼稚園、保育園をめぐる問題と幼児教育の実情について学びます。	第 10 講	高等学校①	中高一貫教育への動きについて学び、中等教育の意義について考えます。
第 3 講	幼児教育②	早期教育を題材に、幼児教育の実情について学びます。	第 11 講	高等学校②	高校改革の動きについて学び、中等教育の意義について考えます。
第 4 講	小学校①	主として小学校で問題化している学級崩壊やいじめについて考えます。	第 12 講	大学①	大学の大量化を受けた、大学改革の動きについて学びます。
第 5 講	小学校②	新学習指導要領を通して、今後の小学校教育について考えます。	第 13 講	大学②	短期大学の歴史を振り返り、今後の高等教育の意義について考えます。
第 6 講	小学校③	学校選択制など、小学校をめぐるさまざまな新しい動きについて考えます。	第 14 講	まとめ	本講での学習を総括します。
第 7 講	中学校①	主として中学生で問題化している、不登校や子どもの「荒れ」について考えます。	第 15 講	試験	
第 8 講	中学校②	学力低下問題など、中学校をめぐるさまざまな問題について考えます。	評 価 方 法		授業への取り組み 30%、試験 70%
	備 考 (関連する資格・試験等)				
	使用する教科書（必ず購入してください）			参 考 文 献	
	教科書は使用せず、必要に応じてプリントを配布します。			尾木直樹『思春期の危機をどう見るか』（岩波新書） 藤田英典編『誰のための「教育再生」か』（岩波新書） 金子元久『大学の教育力—何を教え、何を学ぶか』（ちくま新書）	